

平成 28 年 10 月 20 日（木）、留萌合同庁舎 102 号会議室を会場に留萌教育局初の取組である「留萌管内家庭教育サポート企業等交流会」を実施しました。

当日は 13 社の皆様に御出席いただき、道教委の取組について理解を深めたほか、各社での取組を交流し、「サポート企業として子どもたちのためにできること」について考えました。

説明：「北海道教育委員会の推進する施策等について」

社会教育指導班から、家庭教育サポート企業等制度のなりたちのほか、「子ども朝活」事業、家庭教育「学びカフェ」推進事業、青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース」、「どさんこアウトメディアプロジェクト」等について説明し、これらの取組に多くのサポート企業が関わってくださっていることも紹介しました。

事例発表：「各社の取組について」

「子どもたちのために…我が社の取組」

留萌信用金庫常勤理事 松岡 賢一 氏

◆小・中学生書道・絵画コンクール◆

子どもたちに豊かな感性を表現する場を提供することを目的に、平成 2 年から続けています。

◆るしん夏休み子ども映画会◆

映画館のない留萌管内で、親子で楽しめる機会をとの思いから始めた取組です。

◆劇団四季「こころの劇場」に協賛◆

今年度、地域の子どものために、芸術文化に触れる機会を提供することを目的として、映画会に代わって実施した取組です。

子どもたちが地元で愛着をもち、地元で暮らしたいと思えるよう、地域金融機関として取り組んでいます。



松岡氏



るしん夏休み子ども映画会の様子

「企業同志が連携した取組」

橋場産業株式会社代表取締役 奥山 和彦 氏



奥山氏

◆町教委の事業で雪像製作の協力◆

平成 19 年度に、家庭教育サポート企業となったことをきっかけに、町内の他のサポート企業と協力して、雪像づくりのボランティアを行いました。

◆苫前町古丹別地区ラジオ体操会◆

平成 21 年度から、町内の他のサポート企業と連携して、夏休みに「朝のラジオ体操会」を実施しています。参加した子どもには、毎回お米 1 合をプレゼント！初年度には 4 社だった取組が、今では 6 社に広がっています。

町内のサポート企業と連携しながら、地域全体で子どもたちを育む地域コミュニティの構築を目指しています。



古丹別地区ラジオ体操会の様子

御出席いただいた皆様
(市町村ごと 50 音順、敬称略)

留萌市

- ◆貝森工業株式会社
貝森将之 代表取締役社長
- ◆株式会社エフエムもえる
佐藤太紀 代表取締役社長
- ◆株式会社三省堂書店留萌ブックセンター
塚田亮二 三省堂を応援し隊顧問
- ◆株式会社ファミリーケアサポート
工藤諭史 管理者兼部長
- ◆株式会社ヤクルト北北海道留萌支店
佐々木敏 支店長
- ◆株式会社和秀
居原田隆夫 代表取締役
- ◆日刊留萌新聞
長谷見直也 報道課長
- ◆白鷗印刷株式会社
桜庭敢 常務取締役
- ◆北海道銀行留萌支店
宇佐美勝三 支店長
- ◆有限会社田村木材店
田村裕樹 専務取締役
- ◆留萌信用金庫
松岡賢一 常勤理事

お忙しい中の御出席、
ありがとうございました。

「学校とつながった取組」 渡部工業株式会社代表取締役社長 渡部 和人 氏

◆萌志会（留萌建設協会二世会）による小学校への出前授業◆

萌志会（留萌建設協会二世会）には、多くの家庭教育サポート企業が所属しています。建設に関係する内容は、普段なかなか授業で取り上げられることが少ないため、子どもたちに建設業について理解を深めてもらい、興味をもってもらうことを目的として、平成20年度から小学校に出向き、出前授業を行っています。

出前授業では、建設業に関する説明のほか、工事現場の見学を行うこともあります。また、「防災ミニ運動会」と題して、防災についての〇×クイズをしたり、物干し竿と毛布で簡易担架をつかってリレーをしたりするなど、子どもたちが楽しめる内容を工夫しています。



渡部氏



古丹別小学校での出前授業

「行政に協力した取組」 株式会社ヤクルト北北海道留萌支店長 佐々木 敏 氏

◆「おなか元気教室」や「子どものスポーツ栄養について」などの出前講座の取組◆

株式会社ヤクルト北北海道では、「早寝、早起き、朝ごはん、朝ウンチ」をテーマに望ましい生活習慣の大切さを伝える「おなか元気教室」や、成長期の子どもにとってバランスのよい食事が大切であることを伝える「子どものスポーツ栄養について」などの出前講座を実施しています。

留萌市教育委員会の「子ども朝活」事業や留萌教育局の「子どもの生活習慣づくり研修会」、増毛町や羽幌町、遠別町の高齢者大学、留萌管内の小学校など、様々な機関が実施する研修会や講座等に協力し、健康に関する学びを推進しています。



佐々木氏



港北小学校での「おなか元気教室」

情報交流：「サポート企業の『輪』を広げよう！」

◆基本テーマ「子どもたちのために私たちにできること」◆

グループに分かれ、電子メディアの適切な利用と体験活動の推進を図る「どさんこアウトメディアプロジェクト」の取組を軸として、思い思いに意見交流を行いました。

いただいた御意見

- ・ゲームがなくても楽しめるイベントが地域にあるとよい。
- ・各社で取り組んでいる地域貢献活動は、直接的ではなくても、どこかで子どもにつながっていると思う。
- ・地域社会や家庭が、しっかり子どもに向き合う姿勢が大切ではないか。
- ・先生方を支援することが子どもたちの支援につながると思う。
- ・小、中、高の取組につながりをもたせ、地域全体で子どもを育む取組が大切だと思う。



たくさんの御意見ありがとうございました！



～参加していただいた皆様からの感想～

- ・様々な企業が、教育局の取組に関わっていることが分かった。
- ・各企業の取組が非常に参考になった。
- ・自分たちが楽しんで取り組んでいる活動が、参加者も多くなっているのだと感じた。
- ・自分にもできる取組を考えたい。
- ・異業種の方と意見交換ができてよかった。
- ・また開催があれば参加したい。
- ・サポート企業だけでなく、先生方など幅広い方々が参加できるようにするとよいのではないかと。

家庭教育サポート企業のつながりは、業種や利害を越えて「子どもたちのために」、「地域のために」取り組むことができる、貴重なつながりです。これからも、「**できることから**」、「**楽しみながら**」取り組み、サポート企業の『輪』を広げていきましょう！